



# AND POWER 通信

民主党愛知県議員団

9月定例議会号

編集 / 発行

安藤としき 事務所

〒481-0004 北名古屋市鹿田合田83番地2  
TEL:0568-27-5277/FAX:0568-27-5278

愛知県議会議員・安藤としき県政レポート

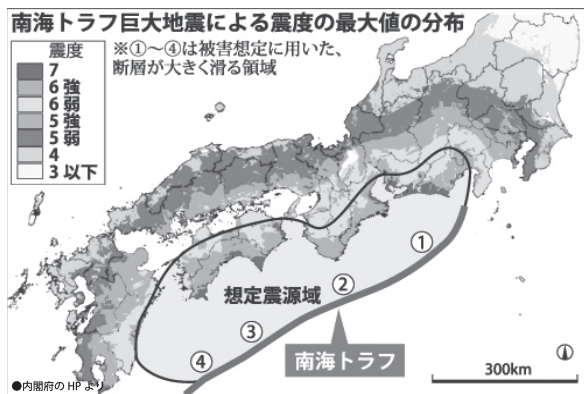
## 南海トラフ巨大地震への対応急務

### 平成25年度予算確保に向け民主県議団が知事に提言

愛知県の9月定例議会は、9月20日から10月12日まで開かれ、河川の防護機能強化や海岸堤防の耐震化などの震災対策や、国道、空港、港湾などへのアクセス路線の整備などを中心とする一般会計補正予算（205億2300万余円）、脱法ドラッグなど薬物の濫用防止条例のほか、議員提案のがん対策推進条例など50議案を審議、決定しました。

被災地支援に、県内3か所で行う予定の震災ガレキの受け入れは、地元との合意形成が図られぬまま取り止めとなり、いまだに具体像が示されない中京都構想や、国政を睨んだ政治活動など、大村知事の県政運営や政治姿勢に対して、民主党をはじめ他党から疑問や批判が呈されました。

8月末には、南海トラフ巨大地震の被害想定が内閣府から示され、防災・減災対策が



これまで以上に求められるなか、知事は県政にしっかりと軸足を置いて対処しなければならない時です。

民主党県議団は、県民生活を守ることを基軸に震災対策や経済の活性化を最優先課題とし、平成25年度予算編成に向け実行すべき事業について、10月12日に知事へ提言を行いました。



清須市・北名古屋市・豊山町選出  
愛知県議会議員

# 安藤としき

## 地域主権と議会改革

自治体に多くの権限と財源を移譲する「地域主権改革」。税金をどう集め、福祉や教育、災害に備えた街づくりにと、行きづまる中央主権から地域が主体となる自治への改革を民主党は呈してきました。しかし、いわゆる「改革派首長」ともてはやされる大阪市長らの言動は、なにか、地域主権をはき違えているような観があるのでは。

国政選挙が近づき、こうした首長の国政進出への野心に刺激され、ご当地の知事、市長を含めて右往左往している様は、明らかに「自治の自分」を踏み外しているのではと思えてなりません。そうした時、しっかりしなければならぬのは、二元代表制の一方である議会です。議会自らが、調査し政策立案し、知事と丁々発止の議論を闘わせ、会派が理念を競い合い、県民生活に寄り添ったよりより方向を紡ぎだしていく。そんな、本来の議会の復権が必要な時です。

今議会では議員提案の政策条例「愛知県がん対策推進条例」が成立しました。そして、民主党県議団では、二元代表制の確かな役割を果たすべく「議会基本条例」の制定に向け取り組みを進めています。